

暴風と降雪に対する農作物等の技術対策

福島県農林水産部研究技術室

平成22年10月22日15時25分、福島地方気象台から「発達する低気圧に関する福島県気象情報（第1号）」が発表されました。

【本文】

低気圧が急速に発達しながら沿海州を北東に進んで、25日にサハリン付近に達し、その後は冬型の気圧配置が強まる見込みです。このため、福島県では25日から27日にかけて暴風となり、大荒れの天気となる所がある見込みです。暴風や高波に警戒が必要です。

また、低気圧の通過後は冷たい空気が流れ込むため、会津の山沿いを中心に、雪の降る所がある見込みです。峠などでは積雪による交通障害にも注意が必要です。

1 施設

(1) 防風ネットの点検と補修

ほ場周囲に防風ネットを設置している場合は、ワイヤー・針金の緩みやネットの破損を点検し補修します。

(2) ハウスの点検と補修

ハウスや被覆資材各部の損傷、ゆるみ、たるみ等を点検し、必要に応じて補修を行います。特に、主管をつなぐジョイントや専用金具がゆるんでいる場合が多いので、確認し補修します。

天窓や扉は、風の吹き上げに備えて閉め具で確実に締め、隙間風が入らないようにします。また、飛来物による破損を防ぐため、ハウス周辺の片付けを行います。

(3) ハウスの補強

パイプハウスは中柱や筋かいを準備しておき、適切に補強します。中柱は強度の高いものを適宜設置し、屋根の直管パイプを支えます。

(4) 雪下ろし

屋根に雪が積もったらビニールが緩まないよう速やかに雪下ろしを行います。特に2年目以降の古ビニールは滑性が劣り倒壊の危険性が高いので、優先して行います。

なお、急激な積雪によりハウスの倒壊が心配される場合には、ビニールを切り、ハウスの倒壊を防ぎます。

2 果樹

(1) 事前対策

ア 現在、収穫期に入っている果樹では、強風による落果や傷害が懸念されるので、収穫可能な果実は事前に収穫しましょう。

イ 立木では、強風により主枝などの大枝が裂けるおそれがあるので、支柱で支え、脱落しないよう枝受け部分を結束します。また、側枝は支柱等で固定すると落果を助長することがあるので、支柱等はずして風になびくようにします。

ウ 降雪のおそれがある会津の山沿いでは、積雪による枝折れを防止するため、主枝等の大枝を中心に支柱等で補強しましょう。

エ リンゴのわい性台樹は倒伏しやすいので、支柱への結束状態を確認し、不十分な場合は補強しておきます。また、木支柱の場合は、支柱の根元が腐敗していないかどうか確認します。

オ 果樹棚（ナシ、ブドウ等）等の施設は、前もって点検し、強風の前にアンカー補強や棚線の締め直し等を行います。また、棚周囲に防風ネットを設置している場合は、風で飛ばされないように補強しましょう。

（２）事後対策

ア 落果した果実は速やかに収集し、適正に処理しましょう。

イ 収穫前の樹で降雪があった場合には、枝折れを防ぐため、枝の雪や果実に積もった雪を払い落とします。

ウ 強い寒気の影響により果実が凍結した場合には、凍結状態で収穫すると「おせ」や「果柄部の損傷」が心配されるので、解凍を待って日中に収穫します。

エ 倒伏した樹はできるだけ早く起こし、土を盛り、支柱等で固定します。大枝が裂けた場合は、ボルトやカスガイ等で止めるか、縄などでしばり傷口を接着させます。

オ 滞水している園地では、明きょなどにより速やかな排水に努めましょう。

農作業安全運動展開中！！

今年は農作業事故が増加傾向にあります。安全第一で作業しましょう。

- 1 余裕を持って作業しましょう
- 2 高齢者の事故に注意しましょう
- 3 機械点検時はエンジンを止めましょう

（ 福島県農作業安全推進本部より ）